
傘

ズガイ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

傘

【Nコード】

N39570

【作者名】

ズガイ

【あらすじ】

ある男と迷子の子

生きてく上で本当に必死なのはどっち？

(前書き)

初の短編です。

おもしろくないかもしれないけどよろしく願います!!

ざーっと雨が降っている。地面には、みずたまりがぽつりとある。隣に傘を忘れた学生が走ってくる。その裏には傘をさした学生達。ふと気がつくとき小さい子がかっぱを着てとことこと歩いている。その子の目には大粒の涙があふれ出しそうだった。どうしたの？

僕はその子に耳を傾けた。

「あのね……お父さんがいないの」

そう言っただけで堪えきれずに泣き出す。

どうしようか迷う。この子の親を探るか交番に行くのかを。

家はどこ？

まずは家が分からないと行けない。

「向こうなの」

指を指しているほうを見ると何も無い空き地があるだけだった。

いつまにか傘がずれて濡れてしまった。この子をどうしようという気持ちが強くなっている。

さらに雨が強くなる。雨と同じくらいにこの子も泣く。

そんなとき裏から「すみません!!」と聞こえた。

よかったという気持ちでこの子を渡す。

一気に空が晴れた。

そして、僕は持っていた刃物をごみ箱に捨て歩き出す。

あの子の必死さに比べりゃもつと頑張れることに気づいたのだった。

END

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3957o/>

傘

2010年10月19日09時22分発行